

分かる快感!

Z会ナビ

算数

理科

社会

お題

蚊がいなくなれば

桶屋がもうかる

おうちで楽しく！
プログラミング通信講座、
Z会にて開講中！



Z会 KOOV 検索

「風がふけば桶屋がもうかる」という話があります。これは、江戸時代には使われていた言い回しです。「風がふくと砂がまい上がり、まい上がった砂が目に入って失明する人が増え、失明した人が三味線ひきになることで（このころは視覚障害者が音楽の仕事に就くことも多かったのです）、三味線の皮の材料となるネコの皮を求めてネコがたくさんとらえられます。ネコが減ることで増えたネズミが桶をかじって穴を開け、桶を修理したり売ったりする桶屋がもうかる」という、何か事が起こると巡り巡って意外なところにも影響が出る、という話です。実際はそんなことは起きないでしょうが。

この話にならい「蚊がいなくなれば桶屋がもうかる」話を考えなさい。

蚊になやまされる季節になりました。



写真を見るだけで、なんだかかゆくなってくる気がします。この写真は、ヒトスジシマカが筆者の足をさしているところです。

ので、実際にこのあとかゆくなりました……。

蚊にさされると、かゆくなるだけではありません。マラリアやデング熱、日本脳炎などさまざまな病気にかかる原因になることもあります。

さされるとかゆいし、夜中に耳の近くをとばれるとねむれないし、病気の原因にもなる蚊なんて、この世界からすべていなくなってしまう方がいいのに、と思うことがあるのではないのでしょうか。

では、あなたが蚊を退治する名人だとして、蚊を絶滅させることができたら、そのあとにどのようなことが起こるのか、考えてみましょう。

蚊がいなくなると起こること

蚊は人にとってはやっかいな敵ですが、さまざまな生き物のよいえさともなっている生き物です。空をとぶ蚊の成虫は、トンボやクモ、小さな鳥などに食べられます。また、水の中にすむ蚊の幼虫（ボウフラ）は小魚やトンボの幼虫（ヤゴ）などに食べられます。

蚊がいなくなるとまず、蚊を食べていたこれらの生き物の数が減ってしまうと考えられますね。蚊を食べるさまざまな生き物が減ってしま



イラスト・瑞木匠

ますが、「桶屋がもうかる」につながる話を作るために、ここではひとつ、トンボに限定して考えてみましょう。

トンボの幼虫は水の中で蚊の幼虫やミジンコ、メダカなどの小さな生き物を、成虫は空中で小さな昆虫をつかまえて食べます。蚊がいなくなるとトンボが減ると、それまでトンボに食べられていた生き物が増えることになります。ここでも話をつなげるためにひとつに限定して、イネの害虫のウンカがトンボに食べられずに増えることにしましょう。

ウンカが増えると、イネがウンカに枯らされて米の収穫量が減り、ネズミが食べることで米の量が減ってしまいます。米を食べられずにおなかをすいたネズミが、手当たり次第なんでも食べ始め、桶をかじってしまうことが増えるでしょう。桶屋がもうかる話が見えてきました。

先の予測の難しさ

「蚊がいなくなるとトンボが減り、トンボに食べられなくなったウンカが増えて米が減り、おなかをすかせたネズミが桶をかじって、桶屋がもうかる」という話がありました。もちろんこれは一例で、いくらでもほかの方法で話をつなげることができますし、「桶屋がもうからない」という話にすることもできます。

「蚊がいなくなると蚊の幼虫を食べるメダカが減り、メダカを食べるヘビ(ヒバカリ)が減り、ヘビを食べるタカが減って、タカに食べられずに増えたネズミが桶をかじり、桶屋がもうかる」や、「蚊がいなくなると、よくねむれるようになった

人がネズミを退治できるようになり、ネズミが減って桶がかじられなくなるので桶屋がもうからない」といった具合です。

このように、話としてははっきりとした結果につながるように作ることができますが、現実の世界で蚊がいなくなると、それがどのような結果をもたらすのかを予測するのは、かなり難しいことです。それは蚊に限ったことではなく、さまざまな生き物についても同じことが言えます。

「ブラックバスを池に放すと、メダカが食べられていなくなる」くらいであれば予測できますが、その先にもさまざまな変化が生じてしまうのです。その結果は「蚊が増える」かもしれませんし、「スイカがなくなる」かもしれません。

予測が難しいからこそ、大変なことが起きてしまわないように、生き物の絶滅を防ぐことが大切なのです。そう考えると、蚊のことも少しとおしく……はなりませんね。身のまわりの蚊を退治するくらいでしたら、桶屋のことは考えなくてもきっと大丈夫ですので安心してください。

(Z会・鳥越賢)

！
今回の教訓
何か事が起こると、巡り巡って意外なところにも影響が出る可能性があります。

鳥越賢さん 2010年Z会入社。小学生向けの理科の教材編集を担当。生き物が大好きで、生き物の写真投稿サイト「日本まるごと生き物図鑑」を運営。

